

## 会議録（１）

会議の名称	令和元年度 第2回 飯能市障害福祉審議会
開催日時	令和2年2月27日（木） 開会 午後6時30分 閉会 午後8時00分
開催場所	飯能市役所本庁舎別館 2階 会議室2・3
会長氏名	曾根 直樹
出席委員	曾根 直樹 角田 健一 岡田 京子 窪寺 朋子 桑山 和子 齋藤 みどり 坂本 美津子 佐藤 智恵美 樽澤 久美子 野田 剛 神山 秀昭 小島 崇幸 加藤 久子 吉岡 かおる
欠席委員	大森 三起子 田中 貴絵
説明者の職氏名	健康福祉部長兼福祉事務所長 田中 雅夫 障害者福祉課長兼つぼみ園長 安藤 礼子 障害者福祉課主幹（相談支援担当）山本 賢 障害者福祉課主幹（障害総務担当）石川 泰伸
傍聴者の数	1人
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	健康福祉部長兼福祉事務所長 田中 雅夫 障害者福祉課長兼つぼみ園長 安藤 礼子 障害者福祉課主幹（相談支援担当）山本 賢 障害者福祉課主幹（障害総務担当）石川 泰伸 障害者福祉課主任（相談支援担当）佐藤 正也 障害者福祉課主任（障害総務担当）西村 英樹
飯能市委託事業所	飯能市すこやか福祉相談センターいなり町 野崎 光子 飯能市すこやか福祉相談センターさかえ町 有賀 りつ子 飯能市すこやか福祉相談センターみなみ町 山口 晋 飯能市すこやか福祉相談センターはちまん町 森田 亜由美 飯能市精神障害者地域活動支援センター希望 萩原 純子 飯能市障害者就労支援センター 蜂須賀 たか子

## 会議録（２）

議事録の概要（経過）・決定事項	
1	開会（午後６時３０分） 障害者福祉課長
2	あいさつ 曾根会長 田中健康福祉部長兼福祉事務所長
3	議事 ○第５期飯能市障害福祉計画・第１期飯能市障害児福祉計画について ・令和元年度実施計画の進捗状況について、事務局より説明を行い、内容の審議を行った。
4	その他 ・なし
5	閉会（午後８時００分）
備考	

## 会議録（3）

発 言 者	発 言 内 容
課長	<p>それでは議事に入らせていただきます。会長に議長をお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。委員の皆様の ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>では、議事の「第5期飯能市障害福祉計画・第1期飯能市障害児福祉計画 についての令和元年度実施計画の進捗状況について」を議題といたします。</p> <p>進め方については、分かりやすく分野ごとに分けて行います。</p> <p>内容のボリュームを踏まえて、まず、別紙②の障害児の分野から始めたい と思います。進捗状況について事務局から説明をお願いします。</p>
主幹 (相談支援担当)	<p>(資料により説明)</p>
会長	<p>説明は以上です。</p> <p>ご意見やご質問はございますか。</p>
委員	<p>医療的ケアの必要な障害児への支援に関連して質問します。放課後等デ イサービス等の障害児通所事業所で、アレルギーの方の受け入れが難しい 現状があるというご意見を保護者の方から伺いました。子どもを預けるこ とができないので、保護者の方が就労することができないとのお話もあり ました。</p> <p>このようなアレルギーのあるお子さんの受け入れを進めていくため には、医療機関と事業所の連携体制の構築が必要ではないかと感じました。 そのような協議の場はありますか。</p>
主幹 (相談支援担当)	<p>医療的ケア児の支援については、障害者支援協議会の中で障害児支援ワ ーキンググループを立ち上げ、個別課題に関する支援方法の検討を行って おります。今年度は、医療的ケアを必要とする在宅の方の支援ニーズの把 握を中心に協議をしております。現時点でアレルギーの方の協議は行って おりません。今日のご意見を受けまして、今後ワーキンググループで検討 したいと思います。</p>
委員	<p>医療的ケアが必要なお子さんの緊急時の対応等について、事業所スタッ フが研修を受けられる体制を築くことが、既存の社会資源を活用した実現 可能な支援ではないかと思えます。</p>

委員	<p>当事業所で受け入れを行った事例を紹介します。誤食が起きた時のために、緊急時の対応について看護師と職員が一緒になって研修を行い、準備をしました。</p> <p>また、それ以外にも食事の際には、対象となる食べ物を物理的に接触できない環境を準備してから移動するなど管理を徹底しました。</p>
会長	<p>委員の方のお話を伺い、アレルギーの方の支援体制について、検討が必要ではないかと感じました。今後、そのワーキンググループで検討していくことは可能ですか。</p>
課長	<p>当事者の方のご意見や、医療機関、事業所の方にご助言をいただきながら、検討を進めてまいりたいと考えます。貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p>
会長	<p>次に、児童発達支援センターの設置については、現状で児童発達支援センターが必要という方は把握していないとの報告でした。ニーズがない中で設置をすると、事業所経営のために利用者を集めることになり、本末転倒になる可能性もあります。</p> <p>計画の理念として共生社会の実現を目指すのであれば、保育所や幼稚園が受け入れるための支援を強化するなど、必ずしも児童発達支援センターの設置を前提とする必要はないと思います。</p> <p>次期の計画策定に向けて、市としての方向性を検討していく必要があると思いますが、いかがでしょうか。</p>
課長	<p>児童発達支援センターについては、設置の必要性も含めて、検討させていただきます。</p>
会長	<p>主に重症心身障害児を支援する事業所の確保については、今後、市内に設置される予定がありますか。</p>
主幹 (相談支援担当)	<p>新たに設置を検討している法人から、ご相談をいただいております。</p>
会長	<p>他にご意見やご質問はございますか。</p> <p>(なし)</p>
会長	<p>ないようですので、次に別紙①の就労に関する支援の進捗状況について事務局の説明をお願いします。</p>

主幹 (相談支援担当)	(資料により説明)
会長	説明は以上です。 ご意見やご質問はございますか。
委員	就労支援について、一般就労に移行した割合も大切ですが、その一般就労が定着することが、より大切ではないかと思えます。就労定着に関しては、どのように取り組まれていらっしゃいますか。
主幹 (相談支援担当)	今回説明した内容については、計画に位置付けている指標であり、就労定着支援を開始した時点から1年後の定着率となります。 就労定着に関しては、個別支援の中で就職後のフォローアップを行っております。また、残念ながら離職された方につきましても、併せて支援を行っております。
委員	就労定着については、年数ごとの定着率なども調査してお示しいただけたらと思えます。 また、障害者就労支援センターに関しては、協議の場の設置だけでなく、個々の就労継続支援事業所等での状況を見ていただくことも重要だと思えます。ぜひ、そのような支援も積極的に行っていただきたいと思えます。
課長	障害者就労支援センターについては、事業を受託している法人にも伝え、そのように実施してまいります。
会長	協議会の中に、就労に関する協議の場は設置されていますか。
主幹 (相談支援担当)	以前は協議会の中に部会として設置しておりましたが、現在は障害者就労推進会議として独立し、障害者就労支援センターが事務局を務めております。
委員	就労定着支援事業を利用せず、一般就労をされている方も多くいらっしゃると思いますが、その方々の定着率等は把握していますか。
主幹 (相談支援担当)	就労定着支援を利用されていない方であっても、障害者就労支援センターが関わっている方については情報がありますので、集計が可能と考えています。
会長	今期の計画については、就労定着支援事業を利用された方の定着率を指

	<p>標としていますが、必要であれば、次期計画については、就労移行支援事業や就労定着支援事業を利用されていない方の定着率も把握することも検討する必要があるかもしれません。</p> <p>他にご意見やご質問はございますか。</p> <p>(なし)</p>
会長	<p>ないようですので、次に別紙①の地域移行に関する支援の進捗状況について事務局の説明をお願いします。</p>
主幹 (相談支援担当)	<p>(資料により説明)</p>
会長	<p>説明は以上です。</p> <p>ご意見やご質問はございますか。</p>
委員	<p>地域移行に関する調査については、障害者福祉課の職員のみで行っているのですか。</p>
課長	<p>調査前は、施設入所者の計画相談員と障害者福祉課の職員で、一緒に調査を実施しようと考えておりました。しかし、施設入所者の計画相談員は、市外の事業所の計画相談員がほとんどであるため連携が難しく、現状は障害者福祉課の職員のみで調査を行っております。</p> <p>このため、会長に調査方法をご相談したところ、ご本人や施設の職員の方から個人情報の取扱いについて了承が得られるのであれば、計画相談員以外のすこやか福祉相談センター職員などが調査を実施しても良いでしょうとのご助言をいただきましたので、今後はそのように実施できるよう進めたいと考えております。</p>
委員	<p>地域移行に関する調査を効率的に行うためには、個人情報の課題もあると思いますが、行政の職員だけで抱えることなく、複数の関係機関が連携して行うことも大切と考えますので、そのような方法でのご検討をお願いします。</p>
委員	<p>障害者の地域移行について、施設で支援を行っている立場として考えますと、医療機関との連携など、解決すべき課題が多いと感じております。</p>
委員	<p>事務局から、地域移行に関する具体的な事例の紹介や、入所者の現在の状況について詳しい資料や説明がありましたので、丁寧な調査を行っていただいていることがよく分かりました。</p>

委員	<p>地域移行の課題に関しては、計画相談事業所の役割が大きくなっていくと思います。また、障害者支援に関わる事業所だけでなく、訪問看護事業所や介護保険事業所など、他業種と連携することも大変重要であると感じております。</p> <p>飯能市は、すこやか福祉相談センターが4か所に増え、すべて地域包括支援センターと併設されております。そして、すこやか福祉相談センターを受託している法人が計画相談も行っていますので、連携を図りやすい社会資源があると思います。</p>
委員	<p>他業種との連携に関しては、医療と福祉の連携をテーマに、ワールドカフェの取組があります。今年度は2回実施して、医療機関、薬局、介護保険の事業所、障害福祉の事業所など多くの方に参加していただき、意見交換を行いました。</p> <p>それほか、市内の社会福祉法人の連携を図るための連絡会も立ち上げる準備をしております。</p> <p>そのような場の提供により、他業種の職員が、気軽に声をかけられるような関係を築いていけるよう取組を行っております。</p>
会長	<p>地域移行を実現するためには、他業種の事業所との連携を進めながら、今一步先の取組も進める必要があると思います。</p> <p>この審議会は障害福祉計画の進捗管理の役割がありますが、その計画の実現のためには実行部隊となる障害者支援協議会の役割が重要となってきます。</p> <p>施設入所者の状況を個別に把握し、障害福祉サービスの地域移行支援の活用を検討したり、重度知的障害者や重症心身障害者を受け入れているグループホームを視察したりするなど、地域移行に向けた仕組みや受け皿づくりについても、具体的な方法を協議会で協議していただきたいと思います。</p>
課長	<p>ご提案いただきました件につきまして、協議会により協議してまいりたいと考えます。</p>
会長	<p>他にご意見やご質問はございますか。</p> <p>(なし)</p>
会長	<p>では、ないようですので、本日の議事については、以上で終了といたします。これを持ちまして、議長の任を降ろさせていただきます。委員の皆様、ご協力ありがとうございました。</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。

令和 年 月 日

議長の署名